

# 泉武弘の市政だより

発行者：泉武弘 政策研究所・行財政改革クラブ・市議会議員 泉武弘

別府市上平田町13組 TEL 0977-67-0570 FAX 0977-67-0659 ホームページ <http://www.izumi-t.jp>  
携帯 090-3410-0084 E-mailアドレス [genki@izumi-t.jp](mailto:genki@izumi-t.jp)



暑い日も、寒い日も、

## 市政だより私がお届けしています

行財政改革クラブ代表者・泉武弘政策研究所代表者

市議会議員 **泉武弘**

### 4年間のご支援

### ありがとうございました

早いもので改選から4年目を迎えました。この間多くの方に支えられ、充実した議員活動を一生懸命することができました。心からお礼申し上げます。

「本当にありがとうございました」

さて、きたる4月には選挙が行われます。そこで、この機会に、私がこの4年間どのような活動をしてきたか、皆さんにご報告し、議員として泉武弘の評価をしていただきたいと思います。

### 行財政改革への取り組みと結果

私が一番力を注いできたのは行財政改革です。

市民の中には、私のことを「泉は一匹狼」だと表現する方がおられます。しかし、たとえ一人であっても政治に情熱や信念を持てば成果を上げることができることを確信した4年でした。

今まで、行財政改革については、私の「市政だより」やホームページで何度も取り上げてまいりました。それで、私の考えや取り組みは十分お分かりいただけていると思います。

その中でも、私が特に重要視して取り組んできた結果をご報告します。

(1) 市立保育所の民営化を次のように実施しました。  
16年度 = 境川、山の手  
19年度春木、野口各保育所  
21年度 = 朝日、平田、あけぼの各保育所  
19年度は民営化に伴い、経営する民間業者をすでに決定しています。また、21年度については民営化の基本方針をすでに決定しています。

これらの保育所の民営化がすべて実施されれば、1年間だけで「1億8253万円」が節約されます。

(2) ごみ収集は民間に委託しました。  
18年度、可燃ごみ30%の収集を民間に委託しました。20年度に30%、さらに22年度には残り全てを民間に委託する予定です。また粗大ごみも委託に向けて協議を進めています。

この結果、18年度だけの削減額は5000万円程度を見込んでいます。こうして22年度まで計画通り委託を行えば、削減効果は「約3億円」が見込めます。

(3) 職員厚生会は次のように改善しました。  
これまで職員の結婚祝い金、銀婚祝い金、誕生祝い金、出産祝い金などの一部を税金から出していました。

17年度、市が厚生会に出した2700万円を  
18年度は1,900万円とし800万円減額しました。

(4) 水道局は次のように改善しました。  
企業手当てをはじめとする、特殊勤務手当てを大幅に改善しました。交替勤務手当てや年末年始手当の廃止や企業手当の大幅減額を行いました。これらの特殊勤務手当の改善で950万円減額しました。

(5) 議会は次のように改革しました。  
私は議会改革について15年9月24日に議長あて「議会改革の要望書」を提出しています。

その内容は、次の項の見直しです。

- (1) 議員定数 (2) 視察旅費
  - (3) 常任、特別委員会 (4) 議会経費
  - (6) 各種審議会や第3セクター委員と議員との関係
- その結果次のように改善しました。

特別委員会の視察旅費の廃止。海外視察旅費の廃止。

そして議員定数は、法定数34名を、15年4月の選挙から2名削減し、さらに19年度の選挙から2名削減することになりました。これらの改革を実施することで4年間の削減額は「1億1千400万円」となります。このほかにも学校給食調理の民間委託、春木での育苗廃止、議会での議員への湯茶接待廃止などに取り組みすでに決定したことや、進行中のものがあります。

しかし、この程度の改革では市の財政状況は改善しません。すべての事務事業を見直し、抜本的な改革をしなければ明日の別府が見えてこないことは確実です。

### 次に私の4年間の議員活動を報告します

私は議会で「行財政改革クラブ」立ち上げ、全力で改革に取り組み、その実態を「泉武弘の市政だより」として

大切なあなたの町のことなのです。



お届けしてきました。

私と他の議員とに違いがあるとすれば、それは行財政改革に対する考え方と進め方にあるといえます。

それにもまして大きな違いは、市政の伝え方にあると思います。

私は「泉武弘の市政だより」として「生の情報」をお伝えしてきました。

### 私が自分で市政だよりをお届けする理由

私は皆さんの税金で議員活動をさせていただいています。ですから、議員として知り得たことは、市民である「納税者」にお知らせしたいと思っています。

そうすることによって、皆さんに市政の「実態」を少しでも深く知っていただきたいという願いからお届けしているのです。その情報が皆さんのお役に立っているかどうかは分かりません。

しかし、普段あまり知ることができない情報をたくさんお知らせすることができたのではないのでしょうか。

「泉武弘の市政だより」も、皆さんに浄財を頂き、昨年だけで「90,000」軒の方々にお届けすることができました。皆さんからよく「なぜ自分で配るのか」と聞かれます。自分で配ることによって、皆さんのご意見を「直に」お聞きすることができます。

そして町や住民の方々の実際のようすを直接見ることができるのです。また、そのような活動を続けることで、いつも議員としての「自覚」を持ち続けることができると考えているからです。

議員は選挙で選ばれば、4年間身分が保証されます。何もしなくても過ごすことができます。しかし、私は絶えず議員としての活動を続けています。

そうしなければ自分自身を納得させることができないのです。だから「市政の生の声」を私がお届けしています。せめて「給料に見合う」だけの働きはしたいと思っています。

### 私の理想とする議会や議員像は

「議員を専門の仕事として、市長をはじめとする執行部や職員を超える知識と政策形成能力を持つ」議員集団として、

「市長や職員の政策と、議会の政策のいずれが市民の利益に貢献することができるか、」

市民に問えるような、議員集団や議会を理想的なものとして思い描いているのです。もし、このような議員集団ができれば、議員の数も大幅に減らすことができるでしょう。

次に県下14市の議員数と報酬を見ていきます。

	大分市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	別府市	
人口	466,215	86,431	75,147	83,091	43,208	22,212	27,954	25,673	33,849	62,708	42,804	36,677	122,917	
有権者数	369,125 6/2現在	68,802 6/1現在	61,012 6/1現在	69,058 7/1現在	37,629 7/1現在	18,763 7/1現在	23,396 7/1現在	21,369 6/2現在	28,012 6/2現在	50,688 6/1現在	36,268 6/1現在	30,276 6/2現在	102,392 6/2現在	
議員1人当たりの有権者数	7,690	1,529	1,849	1,570	1,447	1,042	836	521	609	922	1,170	1,164	3,413	
議員数	法定数	46	30	30	30	26	26	26	26	30	31	26	34	
	条約定数	46	30	26	44 (在任特例)	26	18	24	22	22	30	31	26	31
報酬	現員数	48	45 (在任特例)	33	44 (在任特例)	26	18	28	41 (在任特例)	46	55 (在任特例)	31	26	30
	議長	766,000	448,000	457,000	434,000 #1817/29 #10138	420,000	383,000	402,000	421,000	404,600	415,000	379,000	380,000	586,000
	副議長	695,000	406,000	403,000	391,000 #1817/29 #8945	365,000	333,000	362,000	381,000	362,900	375,000	340,000	340,000	528,000
議員	641,000	338,000	392,000	368,000 #1817/29 #37780	300,000	310,000	340,000	361,000	361,000 #1817/29 #245000	370,000	321,000	320,000	493,000	
政務調査費 (1人当たり月額)	1,200,000	60,000	240,000	200,000	なし	なし	140,000	50,000	180,000	140,000 (改選後) 240,000	なし	なし	840,000	
年商會期日数 (日)	68日	94日	90日	69日	85日	70日	54日	45日	60日	92日	82日	18日	71日	
傍聴者数 (H17.12月)	25人	30人	22人	34人	15人	8人	10人	13人	14人	18人	16人	16人	20人	

別府市の議員一人当たりの有権者数と議員報酬は大分市に次いで2番目です。

しかし、「一番大事なことは」議会の働きがどのくらい「市民利益に結びつき」、有権者がどのくらい「満足の評価」をしているかということではないのでしょうか。

そして選挙は、そのような議員一人ひとりの働きに対して、有権者が厳しい審判を下すことになる制度なのです。

次に、議会の働きに対して市民の関心度合いについてみていきます。

次の表は全国市議会議長会の調査による議会の傍聴者数です。

2005年3月～06年3月までの定例・臨時議会数と傍聴者数

市町村名	議会数	傍聴者数	全国平均(議会数6回)	
大分市	6	760	40～50万人未満	700
別府市	6	751	10～20万人未満	319
中津市	7	567	5～10万人未満	232
佐伯市	8	254		
宇佐市	9	226		
日田市	9	138		
豊後大野市	6	417	5万人未満	153
由布市	4	198		
竹田市	9	186		
津久見市	6	136		
玖珠町	7	132		
豊後高田市	7	114		
杵築市	4	84		
日出町	7	75		
臼杵市	5	61		
九重町	8	60		
姫島村	9	0		

全国平均は全国市議会議長会調べ(2004年)

この表で注目できることは、大分市(43万人)に対して別府市(12万人)の傍聴者の数がほぼ同じことです。これは、別府市民の市政に対する関心の高さを表しているといえるのではないのでしょうか。

## 特集 議会や議員の 実情を知るコーナー

4月には統一地方選挙が行われます。選挙は有権者である国民が議員を直接選ぶことに参加できる制度です。この機会に市議会議員について一緒に考えてみませんか。

### 市議会議員の数はほんとうに多いのでしょうか

市民の皆さんからよく聞く声として

「議員の数が多いいのでは」「行財政改革で減らしては」

議員の数を減らすことでは私も同じ意見です。しかし、皆さんとすべてが同じ意見ではありません。皆さんの意見の中味に「行財政改革」として議員定数を減らしてはどうかということが含まれているようです。

しかし、私は議員数も大事なことと思っていますが、質のほうがもっと大事だと思っています。

議会のときだけ発言する「議員」では、数が多いといわれてもしかたないと思います。思い切って「全国一議員の少ない市」にしてはどうでしょうか。

「552市」の人口段階別の平均報酬月額

区分 人口	報酬月額(万円) (平成17年12月31日現在)			報酬月額(万円) (平成16年12月31日現在)				
	*市数	議長	副議長	議員	市数	議長	副議長	議員
5万未満	177市 (28市)	41.38	35.82	33.27	214市	42.40	36.80	34.20
5~10万	183市 (14市)	49.35	43.59	40.61	225市	49.40	43.60	40.70
10~20万	104市 (12市)	58.94	52.81	48.74	119市	58.90	52.70	48.70
20~30万	31市 (2市)	69.83	62.84	56.67	40市	69.10	62.30	56.70

別府市の議員報酬は全国平均より5,600円高いことが分かります。

次に、では皆さんはどのように選挙と向きあえばよいのか、一緒に考えてみませんか。

先ず所属党派別の議員数を見てください。

市議会議員の所属党派別人員調 単位：人(%)

党派	平成16年12月		平成15年12月	
公明党	2,256	(10.7)	2,204	(11.3)
日本共産党	1,994	(9.4)	1,908	(9.8)
自由民主党	1,835	(8.7)	1,859	(9.6)
民主党	663	(3.1)	643	(3.3)
社会民主党	439	(2.1)	450	(2.3)
自由党	27	(0.1)	28	(0.1)
諸派	251	(1.2)	257	(1.3)
無所属	13,484	(63.8)	11,938	(61.4)
計	20,949		19,287	
欠員	202	(1.0)	147	(0.8)
定数合計	21,151	(100.0)	19,434	(100.0)

無所属議員が64%を占め、16年より2.4ポイント増え圧倒的に多いことが分かります。

選挙に対する市民の声として次のようなものがあります

- (1) 4年に一回、選挙の時だけしか顔を見せない
- (2) 選挙のときだけ政治を語り、普段の活動が見えない
- (3) お願いします、お願いしますと連呼するけれど、別府をどうするのか具体的な政策について、聞いたことがないので、お願いのされようがない
- (4) 苦戦しています、最後をお願いします、助けてくださいというけれど何が、どうなっているのか分からず助けようがない
- (5) 朝早くから夜まで自分の名前ばかり連呼している

これらはまさに私どもにとって耳の痛くなるような市民の生の声です。

なぜこのような声が出るのでしょうか。

議員の日常活動が十分でないため、市民の目に映らないからではないでしょうか。

### では選挙はどのようにして進められるのでしょうか

すでに「後援会名簿」の作成がどの陣営でも行われているようです。名簿は候補者にとって自分の選挙の進み具合を判断する大変重要な要素になっています。

しかし、後援会名簿すべてが「候補者を後援するために」作られたものではないということを有権者も候補者も十分知っています。だからこそ別府で何十万人の名簿ができるのです。日々の人間関係や仕事の関係で、名簿への記入を頼まれれば断りきれず書いた結果でしょう。このことは私には十分理解できます。

私は、皆さんがどのような判断で候補者を選ぶのか大変関心を持っています。

「選挙運動に熱心な人より 政治活動に汗を流す人を選ぶことが大切ではないでしょうか」

有権者の投票動機として次のことが考えられます

- (1) 何回も頼みに来たから
- (2) 同じ地元だから
- (3) 友達から頼まれたから
- (4) 組織が推薦したから
- (5) 政党が同じだから
- (6) 同窓生だから

このような判断も大事です、また、そのような支援がなかったら当選もできないでしょう。

しかし議員としてどのような活動をしてきたのか、新たに立候補する者は、議員になるためにどのような勉強と活動をしてきたかが問われるのではないのでしょうか。今からがんばることも大事ですが、今まで何をしてきたかがもっと大事だと思います。このことを投票の大事な判断材料として欲しいと私は思っています。

朝から夜まで「名前ばかりを連呼」する選挙にどんな意味があるのでしょうか

- (1) です立候補のご挨拶に来ました
- (2) 地元の です よろしくお願ひします
- (3) 若さの です よろしくお願ひします
- (4) です よろしくお願ひします

このような訴えをよく聞きます。しかし、これでは候補者がどのような政治を目指しているのか見えてきません。また、このような選挙で有権者はどのようにして「投票する候補者」を選べばよいのでしょうか。

選挙カーでの「顔見せ」は支持者や候補者にとって大事なことだと思います。また選挙は法律で認められた制度ですから理解もできます。

しかし、候補者の名前ばかり連呼することは認められていないのです。

それにもまして、私が一番問題にしているのは「名前」ばかり連呼する選挙に、どんな意味があるのかということなのです。

私は名前ばかり連呼する選挙はしません。  
一人ひとりに私の考えを伝える選挙をします。

「選挙運動だけに熱心な候補者が高い評価を得れば、政治活動を一生懸命する政治家がいなくなるとあなたはどう思いますか」

私はこの4年間議員として一生懸命活動してきたと自信をもってご報告できます。

このような私の議員活動に皆さんがどのような評価をしてくれるのが大変関心があります。

そして、高い評価をしていただけるものと信じています。

私が高い評価を得れば、私と同じような政治活動をする議員が増えると思います。もし、低い評価しか得られなければ、私のようなこつこつと活動を続ける議員がいなくなるのではと危惧します。

皆さんには選挙活動に汗をかく人より、政治活動に汗する人に高い評価をして欲しいと願っています。

大切なあなたの町のことなのです。

## 別府市が、今すぐ取り組むべき問題について

別府市は平成19年度の「予算編成方針」で財政状況について次のように述べています。

「歳入の減少、歳出における扶助費の増大や「団塊の世代」の退職期を迎えるなど、大幅な財源不足が見込まれる。

今後とも行財政改革に向けた各計画の進捗を確実に早急を実施し、計画以上の成果を達成することが至上命題である。」

これで分かることは、別府市の財政が予断を許さない状況にあることです。

では、なぜ財政状況が厳しいのか、各会計別に今後の財政の推移を見ていきます。

【地方交付税の見通し】 (単位：百万円)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22
見 込 額	6,867	6,695	6,153	5,907	5,659
増 減	198	171	542	246	248
前年度比	2.8%	2.5%	8.1%	4.0%	4.2%

H22のH17比較 ( 1,406百万円、 19.9% )

※ 新型交付税の影響は不確定 ( 国庫の指標を参考に試算 )

【退職手当の見通し】 (単位：百万円)

年 度	H18	H19	H20	H21	H22
見 込 額	962	1,364	1,551	1,503	1,298
増 減	161	402	187	48	205
前年度比	20%	41.8%	13.7%	3.1%	13.6%

※ 勤奨退職分及び特別退職分を含まない。

【主な扶助事業の見通し】 (単位：百万円)

項 目	H17決算	H22見込	増減額	伸び率	
生活保護	事業費	6,488	6,954	466	7.2%
	一般財源	1,312	1,456	144	11.0%
介護保険	事業費	7,549	8,472	923	12.2%
	一般財源	1,076	1,227	151	14.0%
老人保健	事業費	15,617	15,040	577	3.7%
	一般財源	1,079	1,249	170	15.8%
計	事業費	29,654	30,466	812	2.7%
	一般財源	3,467	3,932	465	13.4%

※ 事業費は事務費等を含む総事業費で試算。

※ 20年度以降の老人保健は医療制度改正により横這いで試算。

※ 老人保健の事業費と一般財源の増減逆転は、支払基金負担率が低下 ( 市負担率の増加 ) したことによる。「」は減少

※ 一般財源は市税を財源とするものです。

地方交付税収入が減少して、生活保護、介護保険、老人保健が増加することが分かります。

しかも負担は増え続けるのです。別府市は「基金」を取り崩して何とか財政運営をしていますが、24年にはその基金もなくなります。(基金とは積立金のことです)

別府市が今、しなければならぬことが行財政の改革ということがお分かりいただけたいと思います。そして、この問題に真剣に取り組める人を選ぶのが選挙です。

## 夕張市の財政破綻は他人事ではないのです

北海道夕張市が360億円の赤字を出し、「赤字再建団体」になります。その結果、市民税は最高に。サービスは最低となります。再建期間は20年。職員数は類似している市町村の最小規模。給与を職員で3割、市長や議員は6割カットして全国最低水準にします。市長や議員、職員が減額されるのは「倒産させた責任」で当然ですが、市民はたまったものではありません。しかも20年間も続くのです。すでに地区外に移り住んだ者が300名近くもいます。だから、今、別府市はこうならないために、苦しくても思い切った行財政改革しなければならないのです。

私の政治目標は「別府を日本一の行政効率の発揮できる市にすることです。」

そのために、これからも命を削っても行財政改革に取り組むことを皆さんにお約束します。

## ホームページもご覧ください



行政の問題点を  
シリーズで載せています。

HPアドレス [http:// www.izumi-t.jp](http://www.izumi-t.jp)

E-mailアドレス [genki@izumi-t.jp](mailto:genki@izumi-t.jp)

市政の問題点をさらに詳しく分析してメールマガジンでお届けしています。(無料) ぜひご利用下さい。あなたのご意見やお叱りをどんなことでもお聞かせ下さい。

TEL 0977-67-0570・67-0659  
FAX 0977-67-0659 携帯 090-3410-0084

私はかつて、追求型の議員として存在をアピールし「タケちゃんマン」といわれたことがあります。しかし、現在は、提案を多くする議員でもあると自負しています。市民の皆さんの常識が通用する議会や市政でなければいけません。皆さんの目線に立ってさらに将来を見すえた上での提案をし、追及もさせていただいています。こうした私の姿勢に共鳴してくださる方々に少しでも詳しく情報を提供したい、直接お目にかかってお礼を申し上げたいとの思いから「泉 武弘の市政だより」を各戸に配布しています。これからも私の政治活動を応援してください。

今号も最後までお読みいただきありがとうございました。

### 『お 願 い』

私は市政の「今」を「泉武弘の市政だより」として、私が直接お届けしてきました。多くの声が寄せられ議員活動の励みになっています。これからも「生」の政治をお届けしたいと思っています。ただ、続けるためには皆さんに浄財のカンパをお願いしなければなりません。大変心苦しいのですが印刷費に是非ご協力をお願いします。これまでカンパしていただいた皆さんに心からお礼申し上げます。貴重な寄付は最大限有効に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

泉 武弘政策研究所

行財政改革クラブ 代表 泉武弘 大分銀行別府支店 5800115  
泉 武 弘 大分みらい信用金庫鉄輪支店 9162658